

■作品のテーマ：「Flexible ~ 柔軟性~」

– Motif –

『向日葵、月下美人』

これまでの主要作品では、共通して植物とコントラストを題材にしてきた。最後となる今回の作品でも、この系統を貫き通し、宝美で学んだ集大成であることを明示する。

– story –

来年度から社会人となる私は、社会常識やルーティンワークに縛られることが多くなる。このような環境で生活しているうちに、頭の柔軟性が衰えていくだろう。そこで今回、それを防ぐべく、いつでも宝美で学んだ創造的思考や芸術的表現力を思いだせるような、戒めとなる作品をつくることにした。

– Concept –

『柔軟性を喚起する』作品

太陽を象徴する向日葵、月を象徴する月下美人、真逆の特色を持つにも関わらず、**どちらもこの上なく美しい**と感じさせる花である。

今回の作品は、前書を投影したものとなっている。

「**全ての存在が、比類ないカラーを持っている**」ということを示唆し、「美しいの反対は醜いである」という**固定観念からの脱却**をはかる。

さらに、「**枠にとらわれないことで得られる新たな可能性**」を「**ジュエリーの概念を超えることで生み出せる臨機応変さ**」という形で表現している。

■デザイン

集大成明示のため、これまでの作品で使ってきたドーム形状を取り入れたデザインに。

アイテム：カーテンタッセル、オブジェ

日常使いできる→戒め効果発揮

実際の花の特徴を再現できる→カーテンを束ねた状態の時（日中）に向日葵、解いた状態の時（夜）に月下美人になる

■素材

silver925、水晶

水晶

宝美ならではの作品に仕上げたかったため。（山梨が誇る宝石である水晶に、宝美の特権である宝石研磨を行う。）

拡大効果を活かし、月下美人を向日葵に変化させるため。

■加工技術

宝石彫刻…ドーム作りに使用（内側）【実践選択B2プロダクト】

宝石枠合わせ…ドーム作りに使用（外側）【実践選択B6プロダクト】

CAD…マグネットを仕込むパーツ等、無機的な部分を正確に作り出す。

貴金属加工（手作業）…花のパーツを有機的に表現。